

茂呂つよし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

交通・買い物弱者を支援

県、超高齢社会に対応



県議会本会議で一般質問を行う茂呂剛県議

だれもが住みやすいと感じるふるさと八千代市の実現に全力を上げていく茂呂剛県議は2月定例県議会で登壇し、県の施策について森田知事らに質問しました。高齢化が進む団地に住む住民らに、足腰が弱って買い物に出かけられない高齢者が増えてきていますが、茂呂県議は県が実施しようとしている移動困難者調査・対策事業を取り上げ、事業の進め方などについて質問しました。また、東葉高速鉄道について、住民の利便を図るために八千代線が丘駅に始発列車を設けてはどうかと提案しました。茂呂県議の質疑と県当局の答弁を特集します。

いくための仕組みについて検討し、取り組みを県内に広く普及させていくこととしたところ。

茂呂議員 事業をどのように進めていこうと考えているのか。

総合企画部長 都市部と地方部において、モデルとなる市町と連携して事業を実施します。

この事業では、まず、モデル市町ごとに地域の住民や

小売事業者などへのアンケート調査を実施し、移動困難者の発生の要因や実態を検証、分析します。

その後、検証、分析で得られた情報を基に、市町による先導的な事業展開や民間事業者の積極的な参加を促す仕組みなど、高齢者をはじめ多くの方々が住み慣れた地域で生き生きと暮らしていけるよう、効果的な対策を提案してまいります。

新川に水辺拠点にぎわいを創出

茂呂議員 印旛沼流域かわまちづくり計画は、八千代市を含む6市町において、水辺の自然環境、景観などの地域資源をネットワークで結び、総合的な活用を推進するための、ハードやソフトの対策を定めるものです。

印旛沼流域かわまちづくり計画

八千代市域においては、ハード対策として、「道の駅

また、ソフト対策として、流域のブランド力の強化を図るため、「ニューリバーロードレースイン八千代」などのイベントと連携し、地域の魅力の情報発信等を推進することとされています。

2月定例県議会一般質問

茂呂つよし・PROFILE

■ 略 歴 ■

- 1968年 八千代市に生まれる
- 1987年 八千代松陰高校卒業
- 1992年 秀明大学卒業
- 1992年 イワキ(株)勤務
- 2006年 八千代市議会議員当選
- 2010年 八千代市議会議員再選
- 2014年 第36代八千代市議会副議長
- 2015年 千葉県議会選挙当選 環境生活常任委員会委員 議会運営委員会委員

■ 現 職 ■

- 県議会 文教常任委員会委員

● 県政に関するご相談を気軽にどうぞ

茂呂つよし 県議事務所 276-0046 八千代市大和田新田1092-7
TEL 047-480-0244 FAX

マレーシアへの高校生派遣 国際的な視野広がる

茂呂議員 これからの未来を担う子どもたちに、国際的な視野やコミュニケーション能力、異文化理解の精神などを身に付けさせ、国際的に活躍できるグローバル人材を育成していくことは非常に重要なことであると考えている。

こうした中、知事がマレーシアや台湾を訪れた際に、教育交流の拡大について合意したことを受けて、現地の学校や教育機関との交流が始まり、平成28年度からアジア地域との交流を促進し、国際的に確約できる人材を育成するため、高校生をマレーシアへ派遣している。

今年1月に開催した成果発表会において、参加生徒からは、「互いの文化等について理解を深めることができた」「外国語学習への意欲が向上した」「自分のキャリアを考えるきっかけ

となった」等の報告が挙げられるなど、短期間で国際的な視野を広げていく姿が見られ、今後の成長が期待できるものとなりました。

新たに台湾にも高校生を派遣へ

茂呂議員 来年度は、どのように取り組んでいくのか。教育長 マレーシアへの高校生の派遣については、異文化理解の促進、外国語によるコミュニケーション能力

の向上といった教育効果を生み出すことから、平成30年度も高校生の派遣を実施していきたいと考えています。また、平成27年度から台湾に教職員を派遣して、修

保育士処遇改善事業 県内41市町から申請



議場の自席で県の施策に対して要望する茂呂剛県議

学旅行等機会とした交流の拡大を図っているところですが、平成30年度からは新たに高校生も派遣し、産業教育など、特色ある学習活動等を通じて、より専門的

で深い交流を行い、相互理解の更なる促進とともに、グローバルな視野を持った職業人を育成することとしています。

県教育委員会としては、成果発表会などを通じて、それぞれの派遣の成果等を、当該校のみならず県内の高等学校などで共有し、引き続きグローバル人材の二層の育成に努めてまいります。

てから、補助金申請がありました。対象者は、当初予定した9千人よりも2千人多い1万1千人となり、このため、本議会で事業費を8100万円増額する補正予算案を提案しているところです。

本制度が、保育士1人ひとりの給与に反映される制度となっていることから、事業者からは、「求人の際に反映後の具体的な給与額を提示でき、保育士の確保がしやすくなっている」との声も上がっています。

県では、保育の受け皿整備の充実のため、平成30年度も本事業を引き続き実施することで、市町村と連携し、保育士の確保・定着対策を確実に進めてまいりたいと考えています。

茂呂議員 子育て支援についてうかがう。昨年10月に開始した千葉県保育士処遇改善事業に対する市町村の

申請状況はどうか。知事 千葉県保育士処遇改善事業については、民間保育所のある県内41市町すべ

る。ご協力をいただきながら、八千代市と連携を図り、平成32年度までの開通を目指して、事業を推進してまいります。

また、事業区域南側から東習志野地先の交差点までの約60区間につきましても、八千代台花輪線と合わせた整備が必要と

八千代緑が丘駅に始発列車を

そこでうかがうが、アジア地域への高校生派遣の取り組み状況はどうか。また、その成果はどうか。

教育長 次世代を担う若い世代を積極的に海外へ送り出し、現地での異文化交流や体験の機会を充実させることは、国際社会で活躍できる人材を育成する上で重要であると認識しております。

そのため、県教育委員会では、多民族国家であり、

東葉高速鉄道

茂呂議員 東葉高速鉄道の自立のため、乗客の利便性向上についても取り組んでいくべきと考えるがどうか。

乗客の利便向上

やバリアフリー化を実施する。また、お客様の声を反映したダイヤ改正の検討を行うなどの取り組みを進めているところでございます。

要望 車人数が多く、毎年の伸び率も非常に高い八千代緑が丘駅に始発列車をつくることも検討してみてもどうか。以前は始発列車があり、ホームの構造からみても問題はな

いと思う。始発列車の創設により、まちづくりも一層進むのではないかとと思うので、是非とも検討していただくことを要望する。

要望 西高校入口交差点の渋滞解消のため、右折レーンの早期整備を要望する。また、(仮称)幕張千葉ニュータウン線の一部となる都市計画道路3・3・27号

八千代西部線の未整備区間と、県16号までの構想区間について、沿線地域の渋滞緩和のため、未整備区間は早期事業化を、構想区間は早期の計画具体化を強く要望する。

都市計画道路八千代台花輪線 32年度までの開通目指す

茂呂議員 道路問題についてうかがう。都市計画道路八千代台花輪線の現状と今後の見通しはどうか。

ご協力をいただきながら、八千代市と連携を図り、平成32年度までの開通を目指して、事業を推進してまいります。

八千代西高校入口交差点 渋滞解消へ右折レーンを

要望 西高校入口交差点の渋滞解消のため、右折レーンの早期整備を要望する。

また、(仮称)幕張千葉ニュータウン線の一部となる都市計画道路3・3・27号